

令和3年度労働安全表彰事業場について

令和3年度労働安全表彰事業場に、以下の27社・事業場（工場、製造所、事業所）を安全委員会として推薦し、第284回理事会において決定致しました（詳細は別紙一覧を参照）。なお、表彰は5月24日開催の第42回定時総会で行われる予定です。

記

1. 特別優良賞 20社・事業場

（構内協力会社災害実績を含む）

詳細は別紙「令和3年度労働安全表彰事業場一覧 特別優良賞」参照

規模区分（従業員、期間）	会社・事業場数	参考（令和2年度）
A（700人以上、1年間）	1	1
B（300人以上700人未満、2年間）	2	2
C（100人以上300人未満、3年間）	5	6
D（100人未満、4年間）	12	12
計	20	21

2. 優良賞 7社・事業場

（構内協力会社災害実績を含まず）

詳細は別紙「令和3年度労働安全表彰事業場一覧 優良賞」参照

規模区分（従業員、期間）	会社・事業場数	参考（令和2年度）
A（700人以上、1年間）	1	1
B（300人以上700人未満、2年間）	2	該当なし
C（100人以上300人未満、3年間）	4	5
D（100人未満、4年間）	該当なし	該当なし
計	7	6

以上

令和4年3月7日

## 令和3年度労働安全表彰事業場一覧

一般社団法人 日本アルミニウム協会  
安 全 委 員 会

### 特別優良賞

表彰の条件: 所定の期間、①、②、③の全てを満たすこと。

- ①休業および不休業災害がゼロである事
- ②労働安全衛生規則第96条(火災&爆発)の届出事故が無い事
- ③構内協力会社も休業及び不休業災害がゼロである事

規模区分→表彰条件(期間:暦年)	安全表彰推薦社名及び事業場名	受賞回数	
		特別優良賞	優良賞
Aグループ 令和3年12月末平均在籍従業員数 700人以上 →1年間	株式会社LIXIL 有明工場	8回目	2回
Bグループ 令和3年12月末平均在籍従業員数 300人以上 ~ 700人未満 →2年間(令和2年~令和3年)	昭和電工株式会社 小山事業所	6回目	5回
	堺アルミ株式会社(旧昭和電工堺アルミ株式会社)	3回目	5回
Cグループ 令和3年12月末平均在籍従業員数 100人以上 ~ 300人未満 →3年間(令和元年~令和3年)	株式会社UACJ押出加工群馬	8回目	1回
	株式会社UACJ鋳鍛	7回目	
	東洋アルミニウム株式会社 日野製造所	11回目	1回
	株式会社UACJ製箔 滋賀製造所	2回目	
	株式会社UACJ製箔 伊勢崎製造所	2回目	1回
Dグループ 令和3年12月末平均在籍従業員数 100人未満 →4年間(平成30年~令和3年)	昭和アルミニウム缶株式会社 大牟田工場	12回目	1回
	三協立山株式会社 氷見工場	7回目	4回
	株式会社UACJアルミセンター(旧株式会社UACJカラーアルミ)	3回目	
	東洋アルミニウム株式会社 新庄製造所(御所)	9回目	
	新豆陽金属工業株式会社 川西工場	18回目	
	アルメタックス株式会社 栗東資源循環センター	6回目	
	神鋼アルミ線材株式会社	2回目	
	YKK AP株式会社 熊本甲佐工場	2回目	
	YKK AP株式会社 宮城大衡工場	2回目	
	株式会社YKK AP沖縄	2回目	
	株式会社大紀アルミニウム工業所 新城工場	初受賞	
	株式会社SDAT(旧昭和電工アルミ販売株式会社) 築港工場	初受賞	

### 優良賞

①休業および不休業災害がゼロである事

規模区分→表彰条件(期間:暦年)	安全表彰推薦社名及び事業場名	受賞回数	
		特別優良賞	優良賞
Aグループ 令和3年12月末平均在籍従業員数 700人以上 →1年間	YKK AP株式会社 黒部荻生製造所	6回	3回目
Bグループ 令和3年12月末平均在籍従業員数 300人以上 ~ 700人未満 →2年間(令和2年~令和3年)	日本軽金属株式会社 名古屋工場	1回	3回目
	株式会社UACJ押出加工小山		初受賞
Cグループ 令和3年12月末平均在籍従業員数 100人以上 ~ 300人未満 →3年間(令和元年~令和3年)	YKK AP株式会社 埼玉工場		3回目
	不二サッシ株式会社 千葉工場		6回目
	YKK AP株式会社 岡山工場		2回目
	本多金属工業株式会社 稲沢工場	5回	3回目
Dグループ 令和3年12月末平均在籍従業員数 100人未満 →4年間(平成30年~令和3年)	該当なし		

## 安全表彰事業場数の推移(暦年集計)

優良賞は、休業、不休業災害がゼロの優れた安全成績を達成した事業場に対し表彰を行う。

特別優良賞は、上記に加え、協力会社も休業及び不休業災害がゼロ、かつ労働安全衛生規則第96条(爆発及び火災)による届出事故がないこと

事業場規模区分	平成28年度			平成29年度			平成30年度			令和元年度			令和2年度			令和3年度		
	特別優良	優良	合計	特別優良	優良	合計	特別優良	優良	合計	特別優良	優良	合計	特別優良	優良	合計	特別優良	優良	合計
Aグループ 700人以上	1	1	2	0	0	0	2	0	2	2	1	3	1	1	2	1	1	2
Bグループ 300人以上 700人未満	3	4	7	6	2	8	6	2	8	3	3	6	2	0	2	2	2	4
Cグループ 100人以上 300人未満	9	0	9	7	1	8	5	2	7	5	4	9	6	5	11	5	4	9
Dグループ 100人未満	10	0	10	10	2	12	10	1	11	10	3	13	12	0	14	12	0	12
合計	23	5	28	23	5	28	23	5	28	20	11	31	21	6	27	20	7	27

### <参考>安全成績の推移

平成	28年	29年	30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和3年目標値	令和4年目標値	用語の定義
休業度数率	0.52	0.60	0.49	0.59	0.57	0.62	0.49	0.49	100万延べ実労働時間当たりの労災による死傷者数 (総合には不休業を含む)
総合度数率	1.70	1.97	1.81	1.73	1.72	2.05	1.70	1.70	
強度率 (死亡災害者数)	0.03 (0)	0.03 (0)	0.13 (1)	0.03 (0)	0.01 (0)	0.134 (1)	0.010 (0)	0.010 (0)	1,000延べ実労働時間当たりの労働損失日数

